

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 計画

達成度（評価）

- A：十分達成できている
- B：おおむね達成できている
- C：やや不十分である
- D：不十分である

学校名	唐津市立馬渡小中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員の共通理解のもと、一人一回の公開授業を行うことで研鑽を深め、思考力・判断力・表現力を育成する校内研究を推進できた。次年度はUD教育の推進を柱に据えて研究を進めていく。</li> <li>・食育については継続して取組をすすめ、よりよい食習慣・生活習慣の定着を図るよう、組織的にすすめる。</li> <li>・1人1台タブレットや電子黒板などのICTを活用した授業や長期休業や臨時休業時の課題やオンライン授業を推進し、学習保障を確実に行う。</li> <li>・中学校教員による小学校副担任制や、小学校への乗り入れ授業において一定の成果を挙げている。次年度も小中連携を推進し教育の質の向上を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを行う。</li> </ul>
2 学校教育目標	良さを見つけ、良さを伸ばす ～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学力の向上) 授業・単元のユニバーサルデザイン化により、学びやすさ・理解の深まり・関心や意欲の高まりを目指す。</li> <li>②心の教育) 人権・同和教育や道徳教育を柱にしたUD教育の充実（児童生徒対応力の向上）</li> <li>③健康・体づくり) 生活実態調査をもとにした家庭と連絡を取り保護者との連携</li> <li>④業務改善) 業務改善、きめ細かな指導の充実</li> <li>⑤小中・地域の連携) 小中一貫教育による開発的生徒指導の実践（出番一役割一承認）</li> </ul>

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
重点取組			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・小中連携を生かし、5年間の学力状況調査の経年比較を小中全職員で共有する。前年度の指導課題を生かした授業を実践を共有する機会を年に3回もつ。
	○ユニバーサルデザインの視点にたった授業実践	○ユニバーサルデザインの視点にたった授業実践を受けた児童生徒のうち、昨年より分かりやすくなったと答える児童生徒の割合80%以上	・児童生徒の実態に基づいた授業検討会を月に1度行う。全教員がユニバーサルデザインを意識した研究授業を年1回行う。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒75%以上 ●担任が、道徳の授業を年1回以上保護者に公開する。	・道徳の授業を中心に心の教育を実践する。 ・「唐津市教育の日」に、全学年「ふれあい道徳」を行い、保護者や地域の参加型の授業を実施する。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	●いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教員80%以上。 ●生徒会を中心として、人権活動を年1回以上行う。	・職員会議で情報交換を行う。 ・いじめの発覚または疑われる事案発生直後、いじめ対策委員会を開催する。 ・人権週間の設定と人権集会を開催する。
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・夢や目標について目標の樹やよさの樹活用、マナー検定を通し自ら考えさせる時間を設ける。
	○（学校独自重点取組・任意） 自分や友達の良さを見つけ、それを発表する活動。	○自分や友達の様々な良さを肯定的意見が、年度末アンケートで、当初のアンケート結果より10%以上向上している。	・自分や友達の良さを見つけ、発表する活動をクラスの中で行う。 徐々に発表の場を広げていく。
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい生活習慣の形成」 ③「安全に関する資質・能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上(小学校60%以上、中学校80%以上の数値で学校の実情に応じて設定) ②規則正しく生活を送っている児童生徒90%以上 ③児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	①1週間に1回の合同レクリエーションを全小学生で実施する。また、小中学生全員での合同レクリエーションを月1回実施する。運動部活動を平日に4日、休日に1日実施する。 ②学校生活アンケートを月に1回実施する。 ③安全指導を月に1回実施する。
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒90%以上 ○児童生徒の朝食摂食率100%	●給食便りや給食集会で食事に関する啓発活動を行う。 ○朝食摂取の啓発週間を設ける。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・協働による業務を推進する。 ・定時退勤日、部活動休業日を確実に実施する。
	○タブレットPCを活用した業務効率の改善や教育の個別最適化の推進	○意識調査において、タブレットPCを授業や評価に活用していると回答する教員85%以上	・タブレットPCを効率的・効果的に活用するための研修を行う。
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
○連携(小中・地域)	○小中学校職員の協働による教育実践	○中学校教員による授業や学活の時間等を好意的に受け止める児童の割合が80%以上。	・中学校教員による乗り入れ授業と小学校副担任制の充実を図る。
	○島の様々な資源を活用した教育活動の実践	○学校行事や授業への島民の参観や参加、ゲストティーチャーとしての参加回数が年に20回以上。	・学校だよりや、口コミで行事前に告知を行い、授業参観に来てもらう。 ・島民に、ゲストティーチャーや授業の参加者としての来校を促す。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育